施工説明書

INAX

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。

イデアトーン浴槽（スタンディングタイプ） SBN-1622HPD

施工前に必ずお読みください

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の施工業者の方に手渡してください。
※**この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。**

●「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。

●人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。

安全のため必ずお読みください

●ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

⚠ **注意**……「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠……気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

🚫……行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗……必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※足を滑らせて**ケガをしたり、浴槽にキズが付く恐れ**があります。

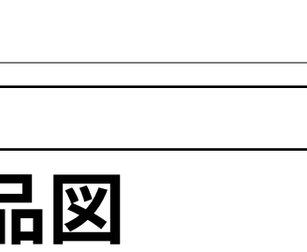
施工に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

2階以上の階に施工する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。
※施工に不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

施工前のご注意

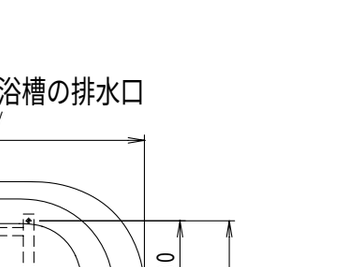
● 特に以下のことには注意してください。

●浴槽本体に破損等がないことを確認してください。
※商品には万全を期してありますが、念のためご確認ください。
万一破損している場合は、取扱店または当社支社へお問い合わせください。

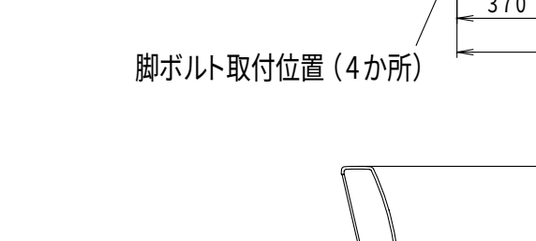


●運搬するときは必要人数を確保し木枠の把手を持ってください。（木枠が現場に入らない等の場合はエプロン底面部を持って搬入してください。）

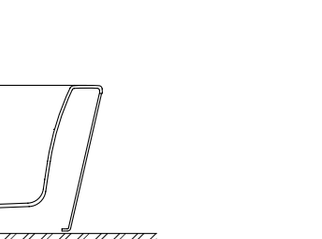
●浴槽を引きずることはしないでください。
※**浴槽が破損する恐れ**があります。



●排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
また、プッシュワンウェイ排水栓のボタン（浴槽上縁面にあります）を押して排水栓の開閉が正常であることを確認してください。
※輸送等で**ゆるんでいる場合**があります。

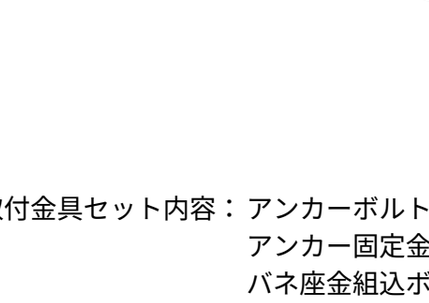


●浴槽本体を持つときは、エプロン底面部を持ってください。また点検口は持たないでください。
※点検口が外れて**浴槽を落としたり、点検口を留める金具が破損する恐れ**があります。

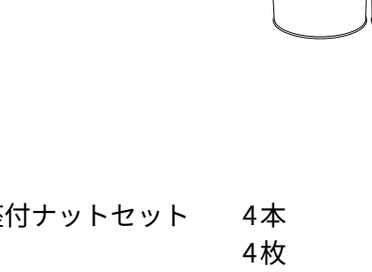


部品の確認

浴槽本体



施工説明書



取扱説明書・保証書セット

取付金具セット（※）

架台

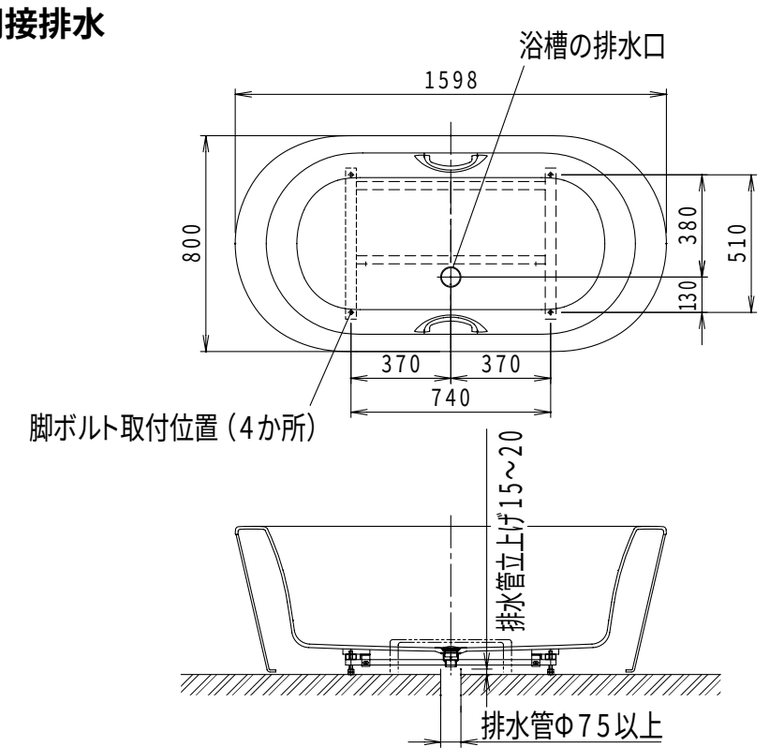
接着剤（EU-1）

取付金具セット内容：

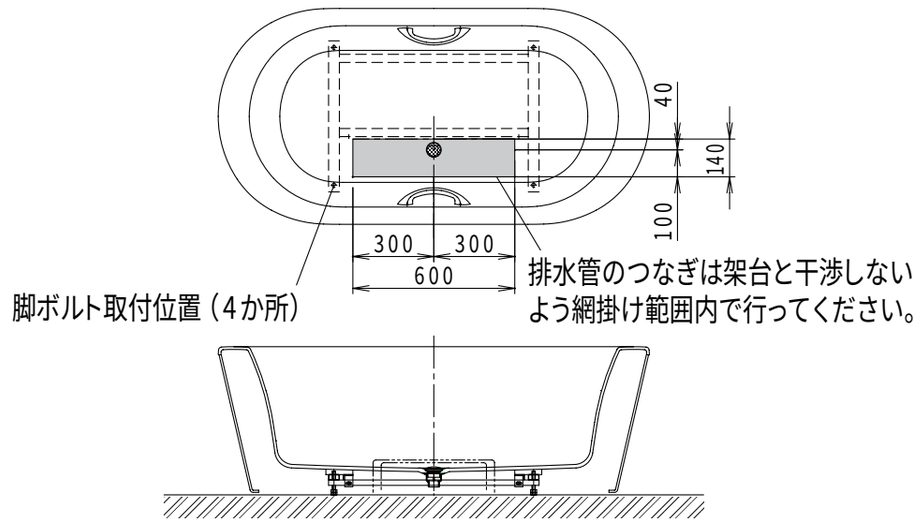
アンカーボルト・座付ナットセット	4本
アンカー固定金具	4枚
バネ座金組込ボルト	2本
平座金	2枚

商品図

間接排水



直接排水



株式会社INAX

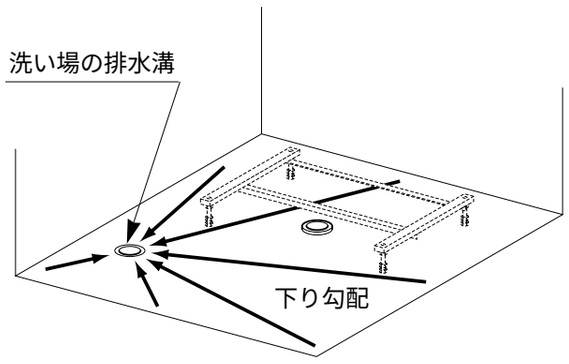
お客さま相談センター商品相談窓口　ナビダイヤル　☎0570-017173
平日「9：00～19：00」対応　土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話等ご利用できません。☎0562-31-0793をご利用ください。

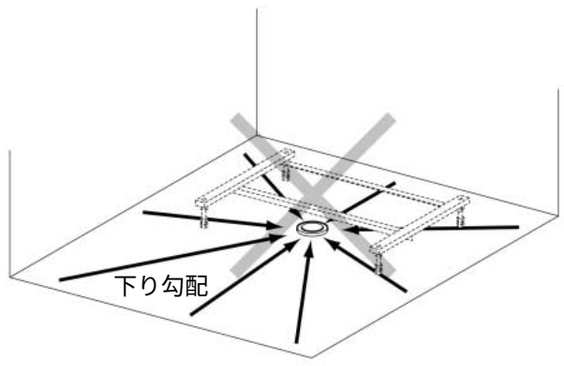
施工方法

1 浴槽の下地作り

① 浴槽の排水口位置を商品図で確認し、同芯で真下にφ75mm以上の排水口を設けます。
※排水は**間接排水**としてください。
排水管からの臭気を防ぐため浴槽になるべく近い点検可能な位置に排水トラップを設けてください。
排水管は浴槽設置面より15～20mm高く立ち上げてください。
なお、直接排水の場合は排水管立上げ可能範囲を確認し、排水管を設けます。

② 洗い場の排水溝に向かって下り勾配（1/50～1/100程度）を設けます。



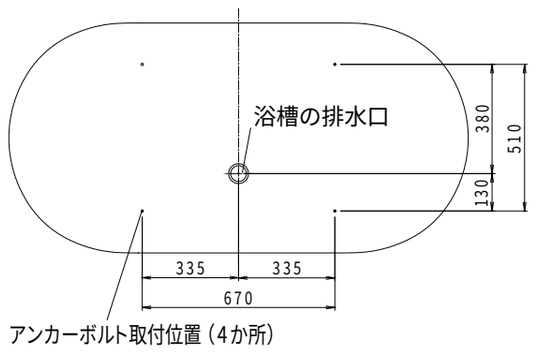


※浴槽下の勾配について、推奨は1/100です。（勾配が大きいほどエプロン下のすき間が大きくなります）

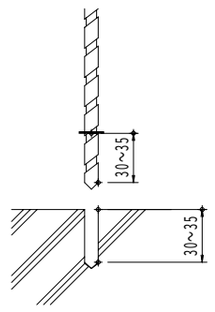
※浴槽に向かって下り勾配を取らないでください。（浴槽下部で水溜りの原因となります）

■アンカーボルト設置用下穴
※モルタルが完全に固まった状態から実施してください。(硬化不十分の場合、強度不足による浴槽のグラつき、転倒等不具合発生の恐れがあります。)

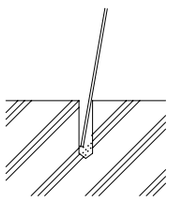
① 下図を参考にアンカーボルト取付芯を墨だししてください。



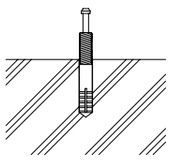
② 径8.5mmコンクリートドリルで深さ30～35mmの穴を垂直にあけてください。



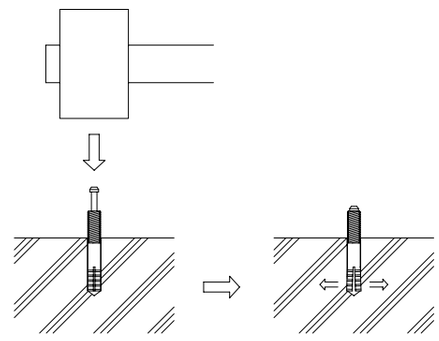
③ 穴の中の削りかすをブロワー等で取り除いてください。



④ アンカーボルトを穴に差し込んでください。



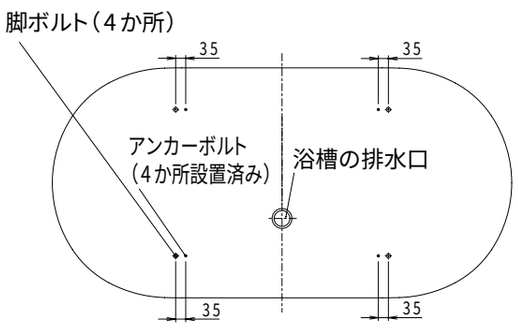
⑤ かなづちでアンカーボルトの頭を打ち込んでください。



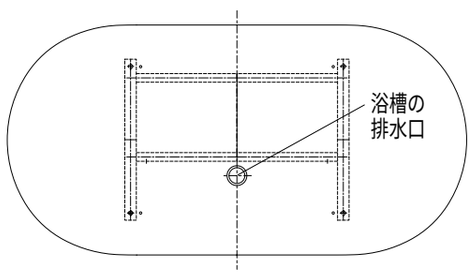
---

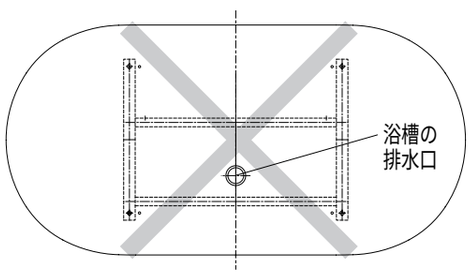
2 架台の据付け

① 右図を参考に架台の脚ボルト（4脚）設置場所を墨だししてください。
※脚ボルトはアンカーボルトに対し35mm外側の設置となります。

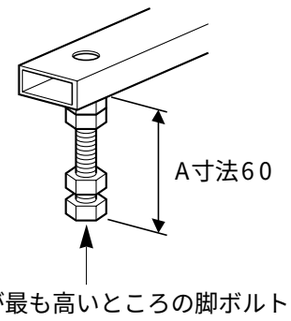


② 架台に付けたまま脚ボルト（4脚）を墨だしした位置に置いてください。
※架台には前後があります。下図を参考に間違いないよう置いてください。



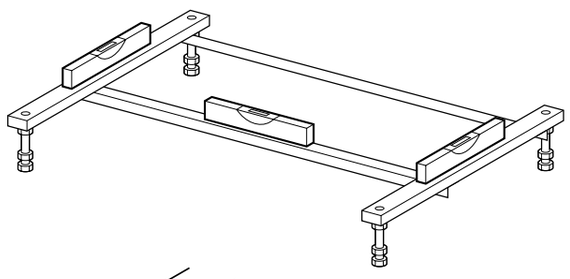


③ 設置位置が最も高いところ（水勾配の一番上流側）の脚ボルトを回し、A寸法を60mmにしてください。
※脚ボルトが固く回りにくいときはロックナット（下から3番目の六角）を時計回りに回して緩めてください。

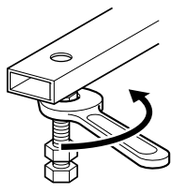


設置位置が最も高いところの脚ボルト

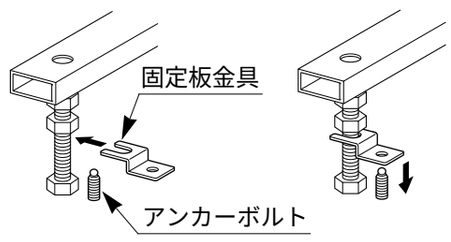
④ その他の3か所の脚ボルトを回し、水平を出してください。
※水平出しは右図のとおり3か所で出してください。
※③で調節した脚ボルトはA寸法を60mmのままにして、回さないでください。
※水平がとれないと、排水しても浴槽内に水が残る場合があります。

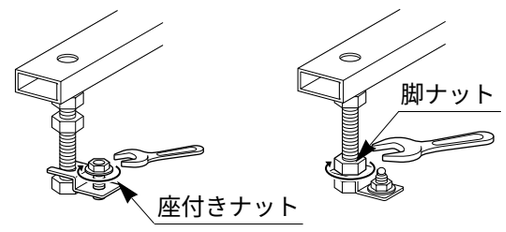


⑤ 4本全てのロックナット（下から3番目の六角）を回し、その上のナットに対し強く締め付けてください。

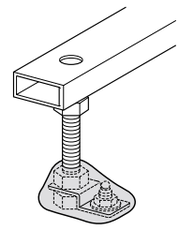


⑥ 浴槽のボルト脚に固定板金具の凹みを引っ掛け、座付ナット、脚ナット（下から2番目の六角）の順で4脚ともしっかり工具で締め込んでください。





⑦ 同梱の接着剤（EU-1）の主剤と硬化剤をよく混ぜて、脚周りを4か所とも盛ってください。
※接着剤を盛る前に、再度架台の前後に間違いないこと（上述②参照）、A寸法が60mmであること（上述③参照）、および水平が出ていること（上述④参照）を念のためご確認ください。接着剤が硬化すると修正ができなくなります。
※キツイにおいがしますが、接着剤が硬化するとなくなります。硬化するまで換気をしてください。



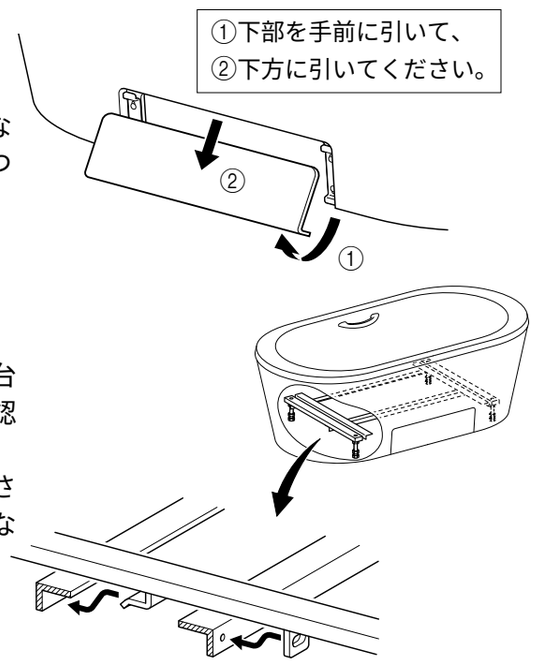
---

3 浴槽の据付け

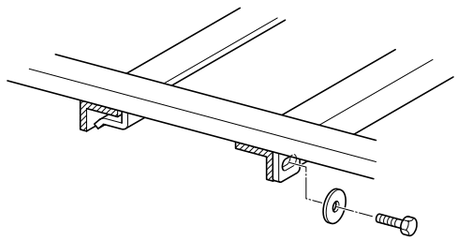
① 壁等と浴槽との間が狭い（目安として人が通れない）場合はその部分の養生シート（浴槽に巻きつけているフィルム）をはがしてください。

② 点検口を外してください。

③ 浴槽を架台にはめ込んでください。
浴槽下部のアングルと長穴の芯がそれぞれ架台のアングルとねじ穴に合うよう点検口から確認しながら設置してください。
※なるべくエプロン下部を持って施工してください。やむをえずグリップを持つ場合は荷重をなるべくかけないようにしてください。



③ 左右のねじ穴を合わせて締め付けてください。



座金を入れて、バネ座金組込ボルトをしっかりと工具で締め付けてください。

---

4 排水のむすび

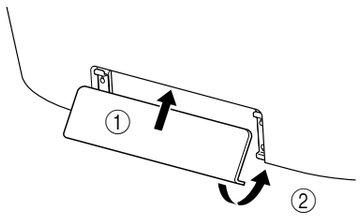
(i) 間接排水の場合
浴槽排水口の芯と排水管の芯が合っていることを確認してください。
(ii) 直接排水の場合
立ち上げ排水管と浴槽の排水口とをむすんでください。

確　　認

1 **清掃**
□ 浴槽内のゴミや異物を取り除きます。

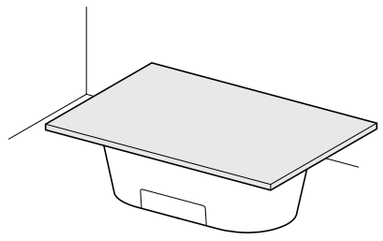
2 **プッシュ式排水栓の確認と水漏れの確認**
□ プッシュ式排水栓が正常に作動する（押す毎に開閉する）ことを確認します。
□ 貯水時、排水金具の取付部等より水漏れがないことを確認します。
□ 排水時、排水管から水のはみ出しや溢れがないことを確認します。

3 **点検口のはめ戻し**
□ 次の手順で点検口をはめ戻してください。



①上部を本体に合わせます。
②パチンとはまるまで下側を押してください。

4 **保護**
□ 浴室の全ての工事が完了するまで浴槽全体をダンボール等で十分保護します。



5 **引渡し**
□ 取扱説明書により正しい使い方をご説明のうえ、取扱説明書、保証書（内容ご記入ください）をお施主さまにお渡しください。